

自然科学研究機構国立天文台 特任研究員（年俸制職員、研究課題「原子・分子で調べる近傍銀河の活動性の研究」）募集

【募集人員】 特任研究員 1名

【職務内容】

国立天文台アルマプロジェクトでは、日本国内の大学に在籍する研究者に ALMA を用いた科学研究を推進していただくため、「ALMA 共同科学研究事業」を設立しました。ALMA 共同科学研究事業については、以下を御覧ください。

[https://researchers.alma-telescope.jp/j/support\\_programs/almagrant/](https://researchers.alma-telescope.jp/j/support_programs/almagrant/)

本事業に基づき、ALMA の観測データ（アーカイブを含む）を用いた研究課題「原子・分子で調べる近傍銀河の活動性の研究」（2021 年 4 月 1 日開始）を推進する特任研究員を募集します。本研究課題の採択者である日本大学・高野教授の下、本特任研究員には勤務時間の 100% を用いて本研究課題を推進すると共に、ALMA プロポーザルも積極的に提出していただきます。研究成果として、年 1 編以上の投稿論文の出版と年 1 件以上の ALMA プロポーザルの提出に加え、本研究課題を推進する場合に限り、学生の研究等への指導・支援を行っていただきます。

【研究課題】

- ・ 研究課題名：  
（和名）原子・分子で調べる近傍銀河の活動性の研究  
（英語名）Study of activities of nearby galaxies with atoms and molecules
- ・ 研究概要：  
銀河の性質の理解は、宇宙の進化の研究に不可欠であり、特に、活動性の起源が活動銀河中心核(AGN)であるのか、スターバーストであるのかは重要な観点である。本研究では、原子・分子のスペクトル線を ALMA で高感度・高空間分解能で観測することにより、活動性の起源についての良いプローブを開拓・確立する。さらに、そのような極限的な環境での化学反応プロセスを明らかにする。このためには、反応モデル計算の結果も用いる。主な観測対象は、すでに多くのデータを得ている近傍銀河の NGC 1068（AGN）と NGC 253（スターバースト）である。また、比較のために、対象とする銀河を広げていく。これらの研究により、銀河の活動性と原子・分子の存在量の関係を明らかにする。

【所属（勤務地）】 日本大学（福島県郡山市）

※ 国立天文台で採用し、同日付で日本大学と国立天文台で在籍出向契約を結び当該大学へ出向していただきます。

#### 【身分・待遇】

- ・ 給与は年俸制。月額 35 万円を毎月支給。
- ・ 通勤手当を支給（上限 55,000 円／月）
- ・ 健康保険（文部科学省共済組合）、年金（厚生年金）、雇用保険および労災保険に加入
- ・ ボーナス、退職金の支給はありません。
- ・ 敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）

#### （出向時の勤務条件）

- ・ 勤務時間及び休日については日本大学の諸規則を適用します。
- ・ 週 6 日（月～土）平日 9 時 00 分～17 時 00 分（休憩 60 分）、土曜 9 時 00 分～13 時 00 分（休憩 60 分）を基本とする裁量労働制勤務（日、祝日、創立記念日（10 月 4 日）、年末年始（12 月 29 日から翌年 1 月 7 日まで）は休日）
- ・ 有給休暇（年次有給休暇）
- ・ 特別休暇（慶弔休暇他）

【着任時期】 原則として 2022 年 4 月 1 日

#### 【契約期間】

- ・ 雇用契約期間は、2023年3月31日まで。ただし、本研究課題は、開始日である2021年4月1日から1年半経つ日までに中間審査が実施され、その結果、契約期間が1年間延長されて2024年3月31日までとなる場合があります。
- ・ ただし、2013年4月1日以降に自然科学研究機構に雇用歴がある場合、2013年4月1日以降の通算雇用期間が10年を超えないように契約期間が設定されます。
- ・ 採択者が他大学または他機関に異動された場合、一緒にその大学または他機関に異動していただくことになりますが、異動先で本特任研究員を受け入れることができなかった場合、就業場所を国立天文台（東京都三鷹市）として研究を継続していただくことになります。

【応募資格】 関連分野で博士の学位を有するか、それと同等の研究能力を有する者。

※国立天文台プロジェクト研究員としての通算雇用歴が 5 年を超える方はご応募いただけません。

#### 【応募方法】

- ・ 以下の提出書類を英文で作成し、全てを PDF に変換して、応募締切までにメール添付で下記アドレス宛にお送りください。

alma-grant-application\_atmark\_ao.ac.jp（\_atmark\_を@に置き換えてください）

※ PDF 作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなり過ぎないように

してください（メール一通につき最大 10MB 程度まで）。

※ 電子メールの応募を受領した場合、確認のため受領のメールを返送します。受領のメールが祝休日を除く 2 日以内に返送されない場合、上記アドレス宛にお問合せください。

※ メール の 件名（Subject）には、応募する研究課題名を明記してください。

・ 提出書類

(1) カバーレター（研究課題名を明記すること）

(2) CV

(3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著論文の場合は応募者の役割分担を記すこと）

(4) 主要論文 3 編以内の PDF ファイル

(5) 職務に対する抱負と計画

(6) 推薦書 2 通以上（推薦書は、推薦者が応募締切までに提出先に直接送ること）

(7) 速やかに連絡できる本人連絡先

・ 応募締切：2021 年 10 月 15 日(金) 日本時間 15:00 必着

【採用の決定】

書類選考の上、面接を対面もしくはオンラインで行う場合があります。なお、面接に要する費用は応募者の自己負担となります。

国立天文台有期雇用職員等審査委員会での承認が必要となります。

【問合せ先】

・ 応募に関する問合せ：

国立天文台 事務部総務課人事係

E-mail: JobRegister-contact-10\_atmark\_nao.ac.jp（\_atmark\_を@に置き換えてください。以下同様。）

・ 研究内容に関わる問合せ：

日本大学 工学部総合教育 高野秀路 教授

E-mail: takano.shuro\_atmark\_nihon-u.ac.jp

・ その他：

国立天文台 アルマプロジェクト ALMA 共同科学研究事業担当

E-mail: alma-grant\_atmark\_alma.mtk.nao.ac.jp

【その他】

・ 科学研究費等の外部資金獲得は可能ですが、研究課題に即した内容であるかどうかを

国立天文台アルマプロジェクトが判断した上で認められることとなります。

- 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。国立天文台の男女共同参画社会の実現に向けた取り組みの詳細は <https://www2.nao.ac.jp/~open-info/gender-equality/> を御覧ください。
- 本事業で採用された特任研究員は、以後、国立天文台の特任研究員（プロジェクト研究員）への採用が制限されます。詳細はお問い合わせください。
- 応募に際していただいた情報は、この選考および事務連絡以外のいかなる目的にも使用いたしません。選考後、採用に至った方以外の応募書類は責任をもって破棄します。

**【募集者名称】**

大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台

以上